

# 指定管理鳥獣捕獲等に関する対策【環境省】

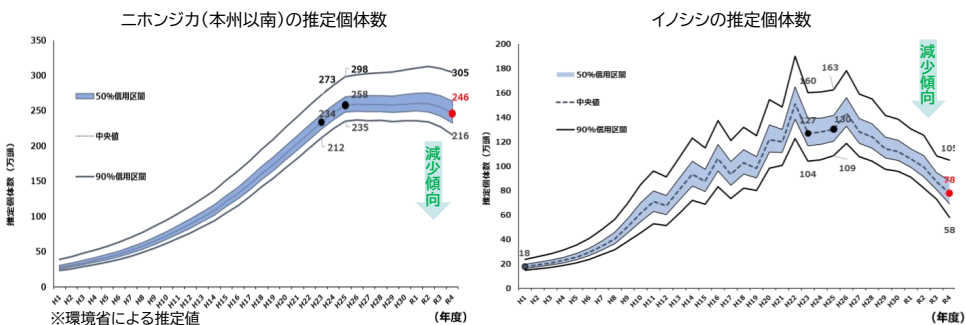
## 施策概要

森林等において都道府県等が指定管理鳥獣(集中的かつ広域的に管理を図る必要があるとして環境大臣が定めた鳥獣)の捕獲等を実施し、生息密度を適正なレベルに減少

## 効果

指定管理鳥獣による植生の食害等に伴う表土流出や生態系等への被害を防止

## 全国的な対策と効果



- ニホンジカの生息密度が過密になると、食害により森林の下層植生が衰退し、土壌流出等の被害が発生するといわれている。
- ニホンジカの捕獲等を行い、生息密度を低下させることで、食害による森林内の下層植生の衰退防止や回復が見込まれることから、土壌流出等の防止に一定の効果があると考えられる。



### 効果的な捕獲に向けた技術実証を実施

夜間のドローン調査

ドローン撮影された赤外線カメラ画像

※黒い影がニホンジカ

生息分布図(数字はニホンジカの生息頭数)

夜間のニホンジカの生息状況をドローンに搭載した赤外線カメラにより撮影し、その情報を基に、くくりわなを設置

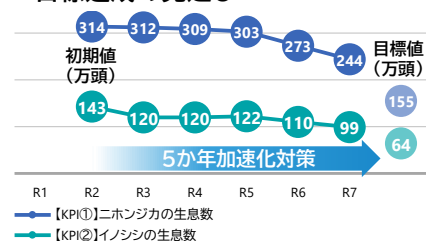
出典:伊豆新聞本社

## ■ 予算額(国費)(加速化・深化分)

R3	R4	R5
24億円	3億円	3億円
R6	R7	累計
-	-	30億円

※ このほか、加速化・深化分以外の予算も措置されている

## ■ 目標達成の見通し



## 整備事例

# 指定管理鳥獣(ニホンジカ・イノシシ)の捕獲により、森林植生の食害に伴う土砂災害を防止する



静岡県、神奈川県



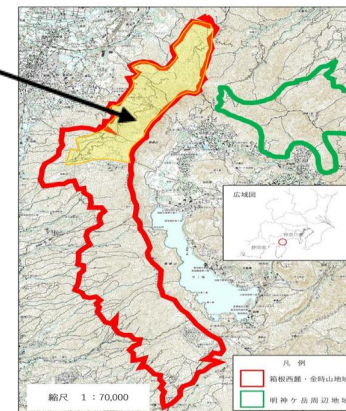
静岡県(箱根西麓・金時山地域)  
神奈川県(明神ヶ岳周辺地域)



指定管理鳥獣捕獲等事業  
交付金

## ■ 捕獲実施区域図

令和5年度ニホンジカ捕獲  
困難地(箱根西麓・金時山)  
管理捕獲実施エリア



## ■ 事業費

0.08億円(うち5か年加速化対策(加速化・深化分)0.08億円)

## ■ 事業の背景(地域の課題)

静岡県側の箱根西麓・金時山地域では、近年はニホンジカの食害の影響を大きく受け、植生が著しく衰退しています。にんじん・いも類などの農業被害や造林地の植栽木などの森林被害も深刻化しています。また、ヒメシャラ等の希少植物が生育している神奈川県側の明神ヶ岳周辺地域では、以前からニホンジカが定着しています。急斜面な場所が多く、アクセスが困難な箇所が多ことから、捕獲に偏りが見られる状況です。このため、静岡県及び神奈川県は、県境付近におけるニホンジカによる生態系への影響や農林業被害の軽減を目的として、連携して広域捕獲計画を作成し、捕獲の実施に取り組むこととなりました。

## ■ 事業の内容

捕獲広域計画に基づき、静岡県側では令和4年度に197頭、令和5年度に347頭のニホンジカを捕獲しました。特に生息密度の高い森林や山間部での捕獲を中心に取り組んでおり、ニホンジカの個体数の減少に寄与しているものと考えられますが、推定生息頭数が依然として高水準であるため、更なる捕獲の強化を行う予定です。

	箱根西麓・金時山地域	明神ヶ岳周辺地域
捕獲方法	わな猟(くくりわな)※	銃猟及びわな猟(くくりわな)
実施体制	認定鳥獣捕獲等事業者等に委託	捕獲事業者等に委託又は派遣労働者(自然環境保全センターに配置)に依頼

※遠隔でわなの作動を電波受信で確認できる技術を管理捕獲に試験的に導入し、技術の実用性と見回り等捕獲労務の負担軽減効果を実証

## ■ 見込まれる効果

ニホンジカ等の食害により、森林植生に下層植生の消失等の深刻な被害がもたらされており、ニホンジカ等の適正な生息密度を実現することで、森林植生の食害に伴う土砂災害等を防止する効果が見込まれます。